

第1回佐久新校再編実施計画懇話会

日時：令和2年12月15日（火）

18時～19時30分

会場：佐久市中込会館 大会議室

次第

1 開 会

2 挨拶

3 自己紹介

4 佐久新校再編実施計画懇話会について

（1）「懇話会」開催の趣旨について

（2）今後のスケジュール及び専門会議について

5 座長選出

6 会議事項

（1）「高校改革～夢に挑戦する学び～実施方針」

①「実施方針」について

②「再編・整備計画【一次】」及び佐久新校の学校像について

（2）質疑応答及び意見交換

7 その他

次回の予定

【日時】 令和3年1月26日（火） 18時～19時30分

【会場】 佐久市中込会館 大会議室

【内容】 アドバイザーによる講演及び意見交換

【アドバイザー】 上智大学 奈須正裕 教授

8 閉 会

佐久新校再編実施計画懇話会 構成員名簿

	区分	氏名	所属等
1	自治体	花里 英一	佐久市 副市長
2		糊澤 晴樹	佐久市教育委員会 教育長
3		山浦 みつ子	南佐久郡町村教育委員会連絡協議会 会長
4	産業界	相馬 栄治郎	佐久商工会議所 副会頭
5		渡辺 仁	佐久総合病院 統括院長
6		白鳥 敬日瑚	マイクロストーン株式会社 代表取締役社長
7	学識 経験者	堀内 ふき	佐久大学 学長
8	地域	吉岡 道明	佐久市教育委員会 教育委員
9		廣末 恵子	社会医療法人恵仁会 医師
10		吉沢 久	佐久地域振興局 局長
11	同窓会	吉岡 徹	野沢北高等学校同窓会 再編検討委員
12		中島 瑞枝	野沢南高等学校同窓会 会長
13	P T A	堀込 健一	野沢北高等学校 P T A 会長
14		岩井 健二	野沢南高等学校 P T A 会長
15		坂内 裕美子	全佐久 P T A 連合会 副会長
16	学校 関係者	山崎 裕史	野沢北高等学校 校長
17		山下 純一	野沢北高等学校 教諭
18		井出 豊彦	野沢南高等学校 校長
19		木下 照美	野沢南高等学校 教諭
20		高橋 利子	佐久中学校長会 会長
21		小林 勉	佐久小学校長会 会長
22	生徒	桃井 妃菜	野沢北高等学校 生徒会長
23		林 樹生	野沢北高等学校 生徒会副会長
		北澤 優里菜	野沢北高等学校 生徒会副会長
24		柳沢 桜太	野沢南高等学校 生徒会長
25		久松 賢悟	野沢南高等学校 生徒会副会長
	渡辺 陽樹	野沢南高等学校 生徒会副会長	

事務局

野沢北高等学校		野沢南高等学校		高校再編推進室	
吉澤 健二	(教頭)・事務局長	鈴木 秀典	(教頭)・副事務局長	上原 浩子	主幹指導主事
山下 純一		小林 雄一		柳澤 弘蔵	主任指導主事 (佐久新校担当)
白石 克典		宮内 孝明			
伴野 健一		木下 照美			
清水 貴弘		山口 達之			

第1回佐久新校再編実施計画懇話会 席図

ステージ

司会席

【事務局】

駒瀬 隆
(高校再編推進室長)

上原 浩子
(主幹指導主事)

高野 幸子
(担当係長)

柳澤 弘蔵
(主任指導主事)

吉澤 健二
(野沢北高校教頭)

白石 克典
清水 貴弘
伴野 健一
(以上、野沢北高校教諭)

鈴木 秀典
(野沢南高校全日制教頭)

宮内 孝明
小林 雄一
山口 達之
(以上、野沢南高校教諭)

花里 英一
(佐久市副市長)

榎澤 晴樹
(佐久市教育長)

山浦 みつ子
(南佐久郡町村教育委員会連絡協議会長)

相馬 栄治郎
(佐久商工会議所副会頭)

渡辺 仁
(佐久総合病院統括院長)

白鳥 敬日瑚
(マイクロスコーン(株) 代表取締役)

堀内 ふき
(佐久大学長)

吉沢 久
(佐久地域振興局長)

座長

〇

〇 久松 賢悟
(野沢南高校生徒会副会長)

〇 柳沢 桜太
(野沢南高校生徒会長)

〇 北澤 優里菜
(野沢北高校生徒会副会長)

〇 桃井 妃菜
(野沢北高校生徒会長)

〇 木下 照美
(野沢南高校教職員)

〇 井出 豊彦
(野沢南高校長)

〇 山下 純一
(野沢北高校教職員)

〇 山崎 裕史
(野沢北高校長)

〇 高橋 利子
(佐久中学校長会長)

〇 小林 勉
(佐久小学校長会長)

〇 坂内 裕美子
(全佐久PTA連合会副会長)

〇 岩井 健二
(野沢南高校PTA会長)

〇 堀込 健一
(野沢北高校PTA会長)

〇 中島 瑞枝
(野沢南高校同窓会長)

〇 吉岡 徹
(野沢北高校同窓会再編検討委員)

〇 廣末 恵子
(医療法人恵仁会医師)

〇 吉岡 道明
(佐久市教育委員)

〇 日時：令和2年12月15日(火)
18時~19時30分

〇 会場：佐久市中込会館 大会議室

傍聴者・報道関係者

新校再編実施計画懇話会開催要綱

(目的)

第1 県教育委員会が、統合新校ごとの再編実施計画を策定するにあたり、再編対象校に加えて、対象校が所在する地域の意見を聴くため、「新校再編実施計画懇話会」（以下、「懇話会」という。）を開催する。

なお、懇話会は、地方自治法第138条の4第3項の規定に基づいて、設置された附属機関ではないものとする。

(会議事項)

第2 懇話会は、次の事項について意見交換を行う。

- (1) 学校像、教育方針等に関する事
- (2) 校地・施設・設備等に関する事
- (3) 管理運営等に関する事
- (4) 教育内容等に関する事
- (5) その他、県教育委員会が必要と認める事項に関する事

(構成員)

第3 懇話会の構成員は、統合対象校の学校関係者（校長、教職員等）、地域の代表（自治体関係者、産業界の代表等）、同窓会、PTA、生徒の代表等とし、必要に応じ、県教育委員会が依頼する。

2 会議に座長を置く。

(開催期間)

第4 会議は統合新校が開校するまでの間、開催するものとする。

附 則

この要綱は、令和2年10月26日から施行する。

第1回 佐久新校再編実施計画懇話会

R2.12.15 @中込会館 大会議室



学び応援キャラクター「信州なび助」
©長野県教育委員会信州なび助

長野県教育委員会

1

◆第1回 佐久新校再編実施計画懇話会

▶ご参集の皆様へのお願い

- ①マスク着用
- ②手指消毒
- ③体温測定
- ④ソーシャルディスタンスの確保
- ⑤会議時間 1時間30分(90分間)



学び応援キャラクター「信州なび助」
©長野県教育委員会信州なび助



外出控え



密集回避



密接回避



密閉回避



換気



咳エチケット



手洗い

2

◆第1回 佐久新校再編実施計画懇話会

【本日の次第】

- 1 開 会
- 2 挨 拶
- 3 自己紹介
- 4 佐久新校再編実施計画懇話会について
- 5 座長選出
- 6 会議事項
- 7 その他
- 8 閉 会



3

◆第1回 佐久新校再編実施計画懇話会

1 開 会

2 挨 拶

3 自己紹介



4

◆第1回 佐久新校再編実施計画懇話会

4 佐久新校再編実施計画懇話会について

- (1) 「懇話会」開催の趣旨について
- (2) 今後のスケジュール等について



5

(1) 「懇話会」開催の趣旨

(目的)

再編実施計画を策定するにあたり、対象校が所在する地域の意見を聴くため、「新校再編実施計画懇話会」を開催

(会議事項)

- ①学校像、教育方針
- ②校地・施設・設備
- ③管理運営、教育内容

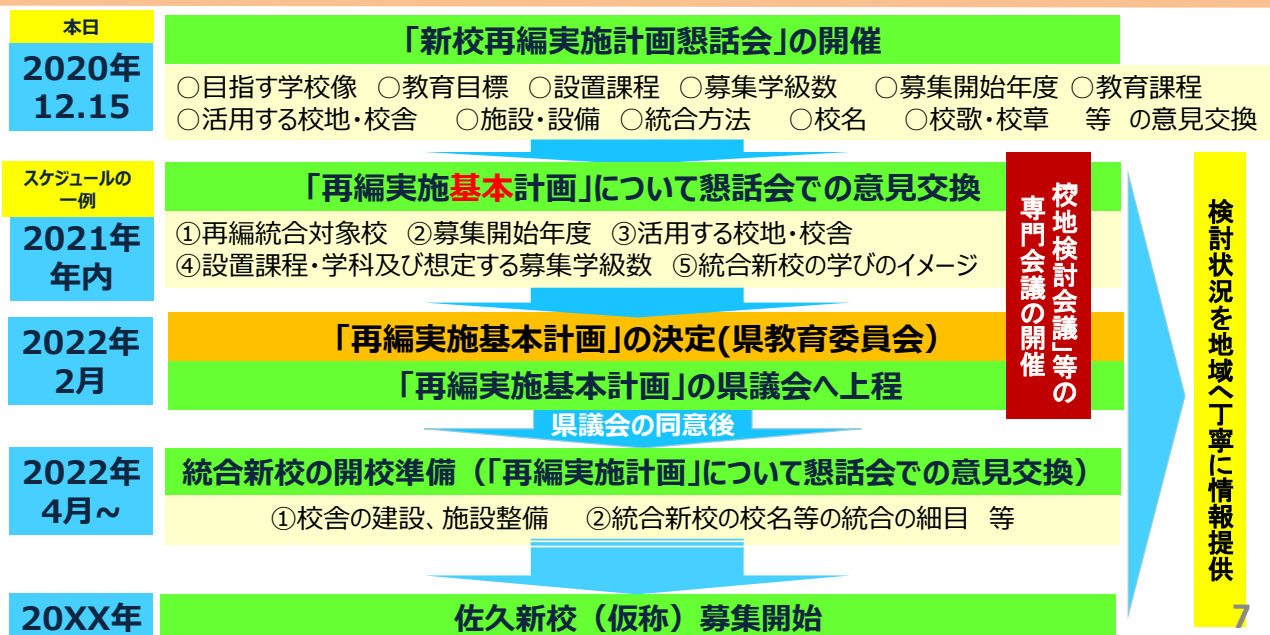
(構成員)

- ①学校関係者（校長、教職員等）
- ②地域の代表（自治体関係者、産業界の代表等）
- ③同窓会、PTA、生徒の代表
- ④学識経験者 等

(開催期間)

新校が開校するまでの間

(2) 今後のスケジュール等



◆ 第1回 佐久新校再編実施計画懇話会

5 座長選出



◆第1回 佐久新校再編実施計画懇話会

6 会議事項

(1) 「高校改革 ～夢に挑戦する学び～」

- ① 「実施方針」について
- ② 「再編・整備計画【一次】」及び佐久新校の学校像について

(2) 質疑応答及び意見交換



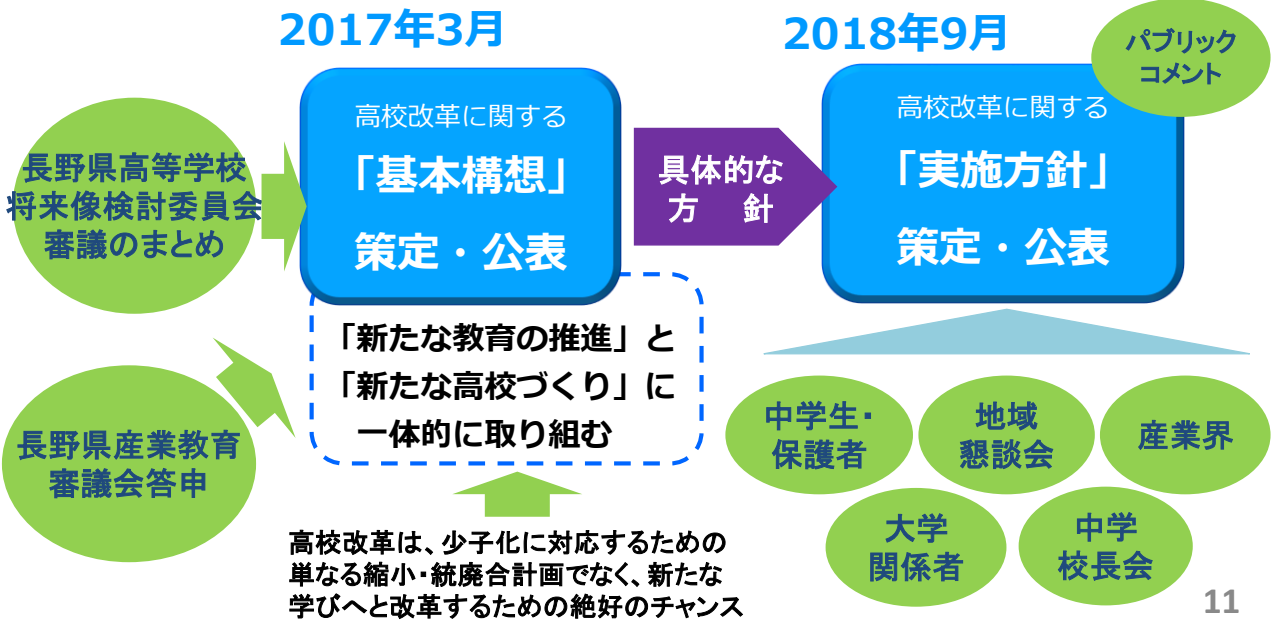
9

「高校改革 ～夢に挑戦する学び～」



10

これまでの経緯



11

「再編・整備計画」全体のスケジュール

2018年 9月
2019年 9月

「高校改革 ～夢に挑戦する学び～ 再編・整備計画」
～地域からの意見・提案を踏まえた再編・整備の方針～

「高校改革～夢に挑戦する学び～」
「実施方針」策定・公表

旧12通学区すべてに「高校の将来像を考える地域の協議会」を設置

2020年 3月

【一次】(案)
策定・公表

旧第8

旧第9

旧第1

旧第6

・住民説明会の実施
・県議会、総合教育会議

教育委員会で確定

2021年 3月

【二次】(案)
策定・公表

2020年中に協議が終了し、
県教委へ意見・提案の提出があつた地区

【一次】(案)と
同様の手順、計画

2022年 3月

【全県】(案)
策定・公表

【一次】(案)、【二次】(案)で策定した以外の全県

【一次】(案)と
同様の手順、計画

統合新校は個別の再編実施計画を策定

12

今なぜ高校改革か① ～激変する社会への対応～

■ Society 5.0で実現する社会

AIにより、必要な情報を必要な時に提供、ロボットや自動走行車などの技術で、少子高齢化、地方の過疎化、貧富の格差などの課題克服

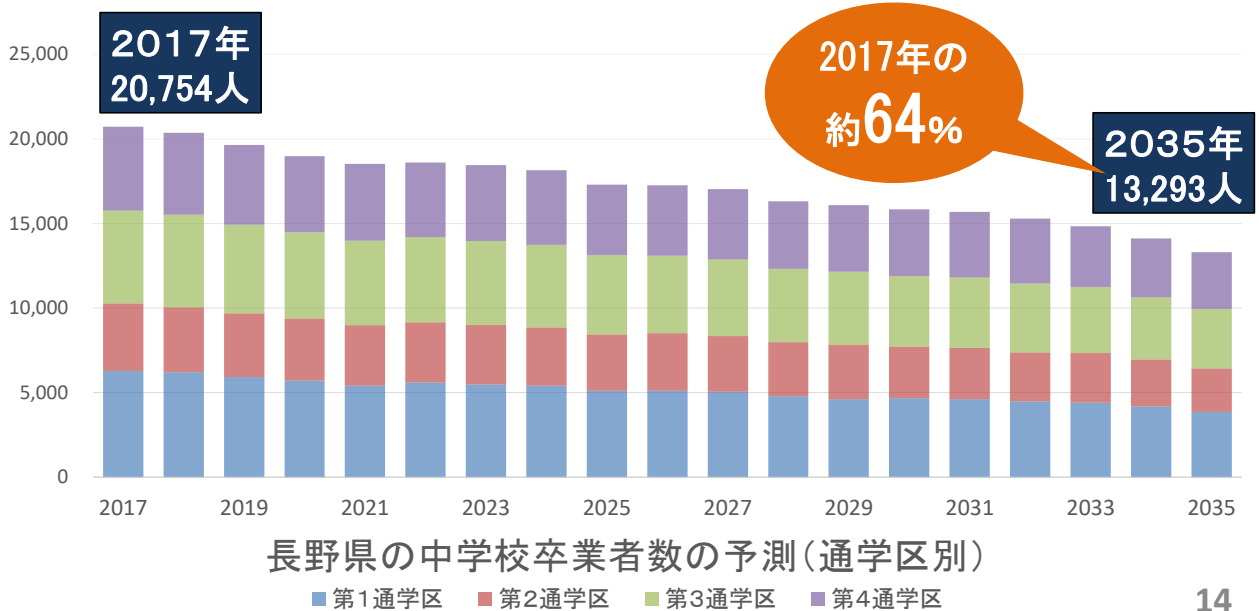
■ これまでの社会（情報社会）の課題

必要な情報の探索・分析が負担、地域の課題や高齢者のニーズへの対応が不十分 など



13

今なぜ高校改革か② ～進行する少子化への対応～



14

「実施方針」～高校改革が目ざすもの～

次代を担う子どもたちのための「学びの改革」

すべての県立高校で推進

激変する社会への対応

新たな学びの推進
(学びの質を充実)

進行する少子化への対応

新たな高校づくり
(学びの基盤を整備)

将来にわたって高校教育の学びの質を保障

15

「実施方針」～6つの方針～

すべての生徒が自らの夢を見つけ、夢に挑戦する学びの実現

新たな学びの推進
(学びの質を充実)

新たな高校づくり
(学びの基盤を整備)

方針1
(p.3~p.9) 全ての高校が
新たな学びへ転換

方針4
(p.21) さらなる少子化の進行
に的確に対応

方針2
(p.10~p.18) 多様な学びの場、学
びの仕組みを整備充実

方針5
(p.21~p.22) 多様な学びの場を
全県に適切に配置

方針3
(p.19~p.20) 新たな学びに
ふさわしい環境を整備

方針6
(p.22~p.23) 「再編・整備計画」を
確定し計画的に整備

※ () 内は「実施方針」のページ 16

「実施方針」～新たな学び①～

方針1 すべての高校が新たな学びへ転換

- 「探究的な学び」の推進
(主体的・対話的で深い学び)
- 3つの方針の策定と運用
(グランドデザイン)
 - ① 生徒育成方針
 - ② 教育課程編成・実施方針
 - ③ 生徒募集方針
- 高校入試制度改革 など

「探究的な学び」のプロセス

課題設定 → 情報収集 → 整理分析 → まとめ表現

フィールドワーク

グループワーク

プレゼンテーション



「探究的な学び」を通して大切にされること

知識・技能の活用

思考力・判断力・表現力

仲間との協働

「実施方針」～新たな学び②～

「探究的な学び」のイメージ

これまでの学び (例)



講義型の授業

知識・技能を間違えずに習得、必要に応じて活用

新たな学び (例)



探究的な学び
(主体的・対話的で深い学び)

知識・技能を活用し、正解のない課題に向き合い、チームとして協働しながら解決していく

「実施方針」～新たな学び③～

「探究的な学び」の具体例

☆京都府立嵯峨野高校（※）の「アカデミックラボ」（2年次2単位科目）

（※）SSH及びSGH指定校、京都こすもす科（5クラス）と普通科（3クラス）の2学科設置

○ 学科・クラスの枠を超えたラボ（研究集団）

※ 4分野（人文科学、社会科学、国際関係・英語、自然科学）・17ラボ

○ テーマ設定→調査→中間発表→まとめ→発表の流れ



<ラボと探究テーマの例>

- ・「グローバル環境ラボ」…歩行者の混雑解消、嵐山の空き地にカフェ
- ・「理科ラボ」…クマムシの生態調査、リンゴの薬用効果
- ・「Global Issuesラボ」…SNSの危険性回避、笑顔が人に及ぼす影響

（田村学、廣瀬志保編著『「探究」を探究する』学事出版、2017）

県立学校学習空間デザイン検討委員会 最終報告

当たり前と考えてきた「教室」と「校舎」のつくり ⇒ 改革します！

「新たな学び」

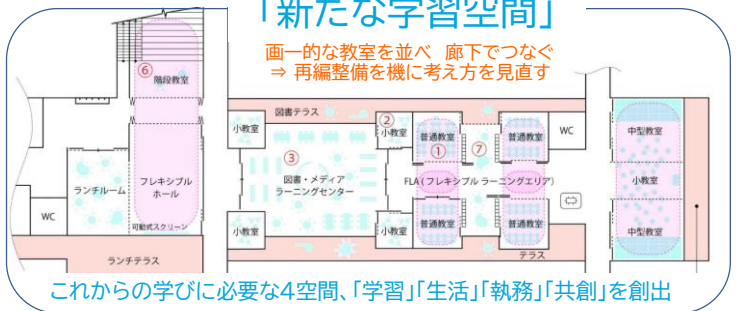


「自律的な学び」+「協働的な学び」
(教え合い・学び合い)



「新たな学習空間」

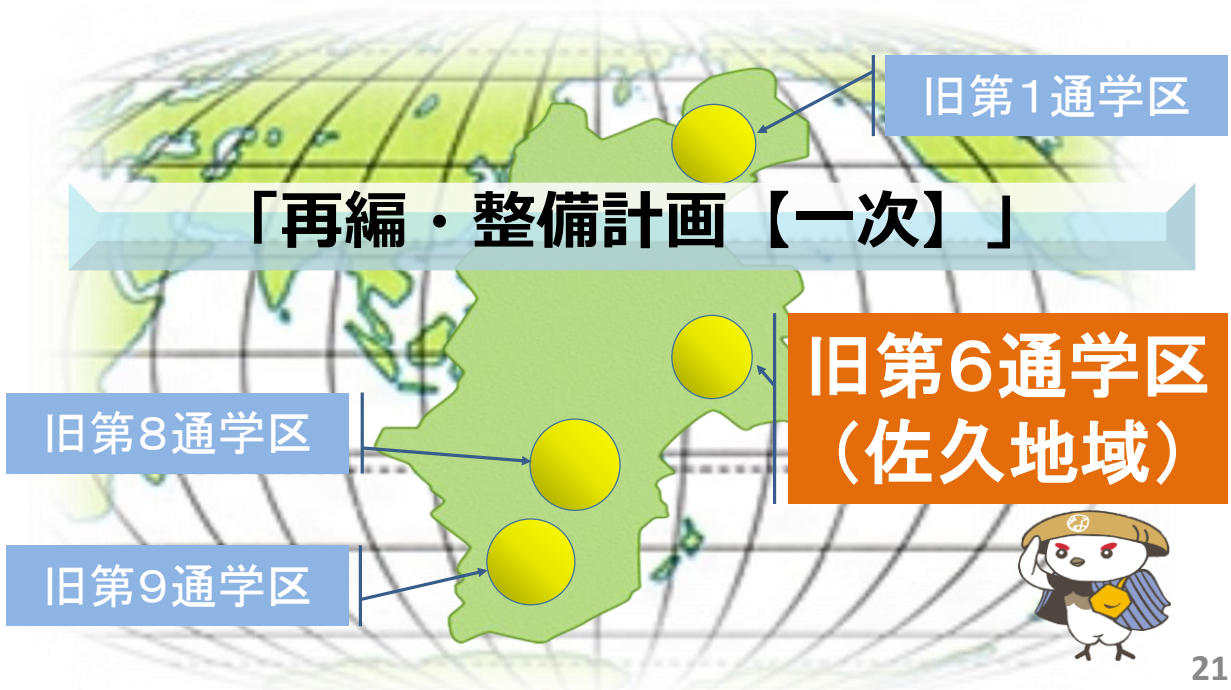
画一的な教室を並べ 廊下でつなぐ
⇒ 再編整備を機に考え方を見直す



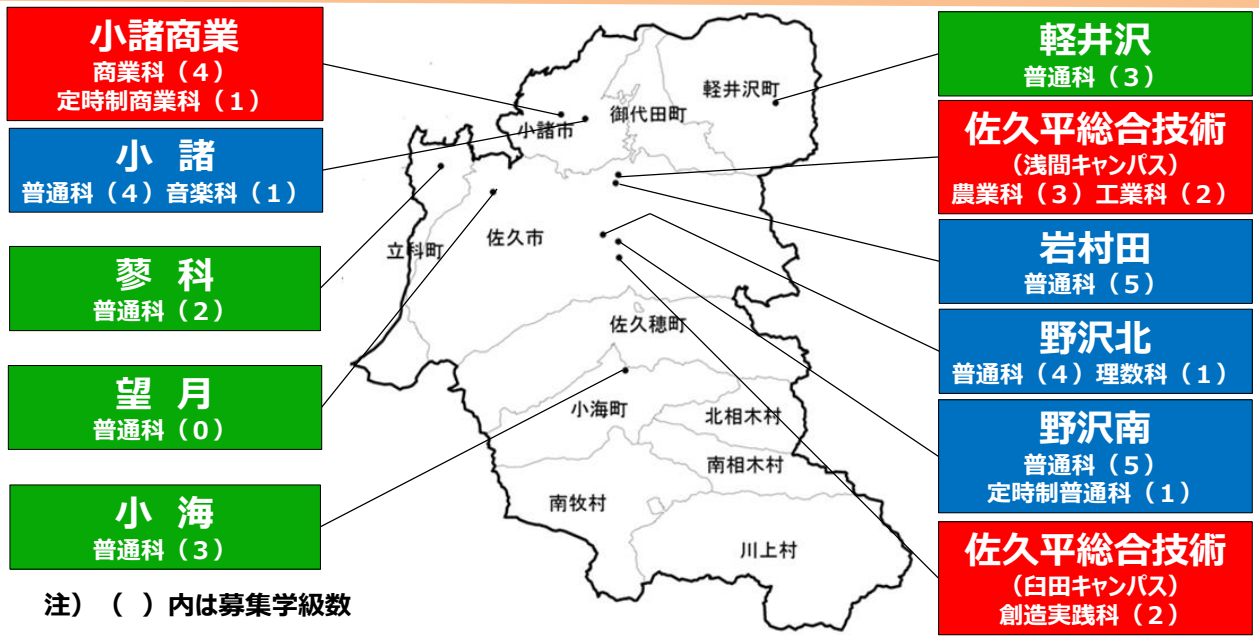
これからの学びに必要な4空間、「学習」「生活」「執務」「共創」を創出

「一体的な高校改革」を推進



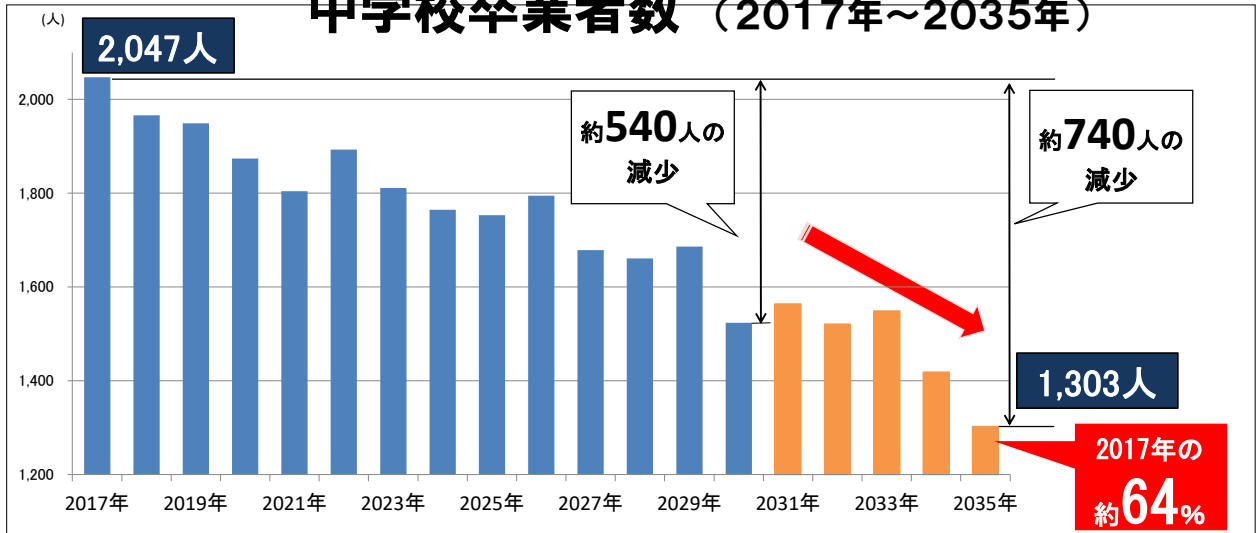


佐久地域の高校配置（2020年度）



佐久地域の少子化の状況

中学校卒業生数（2017年～2035年）



23

佐久地域の再編計画の方向

○中学生の期待に応える学びの場を整備する

○再編の実施を前提に高校の将来像を考える

これらの観点を踏まえ…

規模の大きさを活かした都市部存立校の配置

学びの場の保障の観点を踏まえた中山間地存立校の配置

※「実施方針」p.41より

24

佐久地域の「協議会」からの意見提案

① 学びのあり方

◇ 中学生の期待に応える

- 探究的な学びの実践、特色ある教育課程の整備 等

◇ 地域の活力を生み出す

- 地域の高校はまちづくりの核、地域と高校の協働による課題解決 等

② 環境整備

- 新たな学びに対応する校舎整備とトイレ、暖房等の改善

③ 高校配置

◇ 都市部の高校…一定規模の維持

- 希望進路への対応、多様な自主活動の場

◇ 中山間地の高校…学びの場の存続

- 地域の特色を活かした学び



※「意見提案」p.4～p.8より 25

佐久地域の再編・整備方針

佐久エリアの学びのリソース



地域の中学生の期待に応える学び

新時代の学びのモデル

- “時代の最先端に触れる学び”
- “地域の「ホンモノ」に触れる学び”

地域の活力を生み出す学びの場

持続可能なまちづくりの核

都市部の高校

- 規模を活かした学校づくり
- “切磋琢磨”

中山間地の高校

- 地域と連携した学びの充実
- “地方創生”

佐久地域の高校配置（20XX年度）

“未来のクリエイター育成校”

小諸新校（仮称）

（小諸高校と小諸商業高校の再編統合）

蓼科

普通科

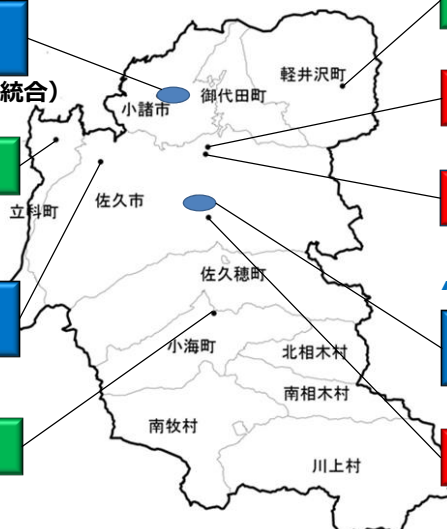
“Newタイプの通信制”

望月サテライト

普通科

小海

普通科



軽井沢

普通科

佐久平総合技術（浅間）

農業科・工業科

岩村田

普通科

“未来のリーダー育成校”

佐久新校（仮称）

（野沢北高校と野沢南高校の再編統合）

佐久平総合技術（臼田）

総合学科

※定時制課程の配置については、2022年（令和4年）に策定・公表する「再編・整備計画【全県】（案）」で示す

27

佐久新校（仮称）の学校像（例）①

○統合新校の学校像としては例えば次のような姿が考えられる。

佐久新校（仮称）

未来のリーダー育成校

- ◇規模の大きさを活かした地域における卓越した探究的な学びの拠点
- ◇地域に根ざした未来のリーダー育成校



新たな普通科教育推進校

- ◇先進医療機関等地域の諸機関や大学等と連携した探究活動を積極的に推進
- ◇生徒や地域の高度なニーズに応える個別最適な学びを追求する新たな普通科教育推進の場

※「再編・整備計画【一次】」p.13より

28

佐久新校(仮称)の学校像(例) ②

時代の最先端に触れ、地域・世界の未来を牽引するリーダー育成校



29

◆第1回 佐久新校再編実施計画懇話会

6 会議事項

(1) 「高校改革 ～夢に挑戦する学び～」

- ① 「実施方針」について
- ② 「再編・整備計画【一次】」及び佐久新校の学校像について

(2) 質疑応答及び意見交換



30

◆第1回 佐久新校再編実施計画懇話会

7 その他

【次回の予定】

- ◆日時：令和3年1月26日（火）18:00～19:30
- ◆会場：中込会館 大会議室
- ◆内容：アドバイザーによる講演及び意見交換
- ◆アドバイザー：上智大学 奈須正裕 教授

8 閉会



未来を創造する長野県野沢北高等学校の「3つの方針」

教育目標

教養を高め、知性を磨き、心身を鍛え、豊かな環境と平和な世界を希求し、地域社会に根ざした、社会の有意な形成者を育成する。

どんな生徒を育てようとしているのですか。（生徒育成方針）

未来社会の核として地域・日本・世界で活躍する人を育てたいと考えています。私達を取り巻く問題をどう解決していくのか、予測不可能な社会で力強く生きる生徒を育てるため、次の3つの力を育てていくことを目的としています。

- 「情報を正しく理解し、伝えたり発表したりする力」
- 「論理的に考える力と主体的に課題を解決していく力」
- 「広い知識と教養にもとづく未来を担う力」

どんなことを大切にしているのですか。（教育課程編成・実施方針）

○楽しくてやりがいのある、質の高い授業

- 本校では次のような授業が実現しています。
- 静かで落ち着いた雰囲気の中で、集中して考え抜く授業
- 他の生徒の考え・解き方を学び合う授業
- 生徒同士で教え合う授業
- 先生と生徒の和やかなやり取りがある授業
- 積極的に発言し合う授業
- 和気あいあいの中で自分の意見を持って臨むグループ討議
- 互いに質問し合うグループごとの研究発表
- 英語によるディベート

○常に疑問を持つ姿勢

- 学校生活のさまざまな場面で疑問を持つ姿勢を育てるために、次のようなことに取り組んでいます。
- 自らの疑問から課題を見つけ、調べ、考え、議論する探究・課題研究
- 成果を発表する探究発表会・課題研究発表会
- 個人またはグループでまとめる研究論文
- 自らの発想を大切にする生徒会活動・部活動

○先進的な学び

- 常に変化する社会の中で必要とされる先進的な学びを実現するため、次のような学びを導入しています。
- 探究、課題研究をはじめとする、答えのない問題に取り組む探究的な学び
- 電子黒板・一人一台タブレット端末等、ICTを活用する情報共有型の学び
- 大学等の研究機関、地域の企業やNPO等と連携して行う協働的な学び

どんな生徒を待っているのですか。（生徒募集方針）

- 次のような生徒を待っています。
- 学びたい、知りたいという気持ちを強く持っている生徒
- 学習にも部活動にも精一杯がんばりたい生徒
- 何事に対してもあきらめず、ねばり強く挑戦したい生徒
- 地域・日本・世界を支える一員として、活躍したい生徒



長野県野沢北高等学校 グランドデザイン

未来社会の核として
地域・日本・世界で活躍する人を育てる

育つ力

情報を正しく理解し、伝えたり発表したりする力
論理的に考える力と主体的に課題を解決していく力
広い知識と教養にもとづく未来を担う力

未来社会を
創造する力

コミュニケー
ション能力

旺盛な探究心
と高い学力

社会の事象に
関心を持つ力

課題を見つけ
解決する能力

筋道を立てて考え、他
者に伝え述べる能力

大切にしていること

楽しくやりがいのある
質の高い授業

常に疑問を持つ姿勢

先進的な学び

落ち着いた環境

研究論文作成

集中して考え抜く

他の考え・解き方を学び合う

探究発表会・課題研究発表会

大学・地域企業 NPOなどと連携
ICT活用

先生と生徒の和やかなやり取り

積極的な発言

質問し合う研究発表

電子黒板利用

英語によるディベート

調べ、考え、議論する探究・課題研究

グループ討議

一人一台タブレット

生徒同士で教え合う

自らの疑問から課題を見つける

探究的学び

自ら発想する

生徒会活動

部活動



Wi-Fi環境整備

こんな人を待っています

学びたい 知りたい 諦めず、ねばり強くやりたい
勉強も部活動も両方やりたい
地域で・日本で・世界で活躍したい

『 3つの“ゆう” 「友」 「優」 「結」 を大切にする学校づくり 』

長野県野沢南高等学校「全日制課程」の「3つの方針」

■ 野沢南高等学校の育てたい生徒像【生徒育成方針】

- 自尊感情の醸成を図るとともに豊かな人間性を養い、自主的・自律的に判断し行動できる生徒を育む。
- 社会人基礎力の基盤となる学力の定着を図るとともに、自ら進んで学習に取り組み、学びで得たことを活用し行動できる生徒を育む。
 - *社会人基礎力…職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力のこと
- 自主活動やキャリア教育を友と協働的に推進し、自己の発見や開発のできる生徒を育む。
- 地域に関する探究的な学び等に取り組み、地域に貢献し活躍できる生徒を育む。

■ 野沢南高等学校は、生徒育成方針に掲げた目標を達成するために次のような教育を行います。

【教育課程編成・実施方針】

1年：ICT（電子黒板等）などを活用し理解しやすく効果的な授業を展開します。

中学で培った基礎学力をもとに苦手教科を補強するとともに、自主的な学習習慣を確立し幅広い基礎的学力を身に付けます。

2年：それぞれが自分の適正を見極め、文系と理系にわかれ学習を進めることで進路希望に応じた確かな学力の形成を目指すとともに、さまざまな自主活動を通じ豊かな人間性を育みます。

3年：進路希望に応じた講座（文系・理系・医療看護系）分けや幅広い選択講座により応用力や実践力を身に付け、それぞれの進路希望の実現を目指します。

*全学年において総合的な探究の時間を設け、地域や社会問題に関し探究的な学びを行うことで自己の発見や開発を進め、情報の整理や活用力、問題解決力を実践的に育むとともに、将来地域などにおいて主体的に社会の発展に寄与するための社会人基礎力を身に付けます。

■ 野沢南高等学校は、次のような生徒を待っています。【生徒募集方針】

- 自ら進んで勉学に励み、学力の向上をめざす生徒
- 学校や地域での活動（生徒会活動・部活動・学級活動・ボランティア活動等）を通じて、自らの心身を鍛練し自己実現を図りたいと考えている生徒
- 仲間と協力し、主体的に粘り強く活動できる生徒



一人ひとりを大切にする教育

● 育てたい生徒像

- 自主的・自律的に判断し行動できる生徒
- 自ら進んで学習に取り組み、学びで得たことを活用し行動できる生徒
- 友と協働し、自己の発見や開発のできる生徒
- 地域に貢献し活躍できる生徒

▷▷ 野沢南で繋げよう

友を、希望を、そして未来を。

Jump! 希望を胸に 溢るる精气 我ら皆

3年 羽ばたく夢

- それぞれの進路希望の実現を目指します
- 進路希望に応じ講座（文系・理系・医療看護系）にわかれより丁寧な指導を行います
- 幅広い選択講座により応用力や実践力を身に付けます

Step! 心は燃ゆる 輝き育つ 我ら皆

2年 伸びゆく夢

- 進路希望に応じた確かな学力形成を目指します
- それぞれが自分の適正を見極め、文系と理系にわかれより効果的な学習を進めます
- さまざまな自主活動を通じて、豊かな人間性を育むとともに、主体的に取り組む態度を身に付けます

Hop! 足どり確か 萌えでる息吹 我ら皆

1年 はぐくむ夢

- ICT 機器を活用し効果的な授業を行うことで、学習課題に対する興味関心を高めるとともに、学習内容についてより深い理解を目指します
- 中学で培った基礎学力をもとに、苦手教科の補強を目指した丁寧な指導を行います
- 自主的な学習習慣を確立し、幅広い基礎的学力を身に付けます

人間力の育成

- 凡事徹底の実践
- 学校生活のさまざまな場面を通じ自己啓発に取り組む
- 自尊感情の醸成を図る

丁寧な個別指導

- 個人面談等によるきめ細かな指導
- 個別指導による学習サポート
- 進路希望の実現に向けた希望者対象補習等の取り組み

充実した自主活動

- 活発なクラブ活動 [運動・文化系 各13]
- 自らの心身を鍛練し自己実現を図る
- 生徒会による活発な自治活動

幅広い進路選択に向けての支援

- 通常の講座に加え医療看護系などさまざまな分野の進学に対応した授業の編成

結

優

友

野沢南高等学校
4者(生徒・保護者・同窓生・職員)による
3つの「ゆう」の学校づくり宣言
(2007年)

- 結 [地域と仲間とつながる]
 - 優 [優しい心と優れた力]
 - 友 [友達を大切に]
- の学校づくりを目指します

全校一斉
朝読書

主体的な
学び

先輩から学ぶ行事
「ようこそ先輩」など

探究活動

● 野沢南高校は、次のような生徒を待っています

- 自ら進んで勉学に励み、学力の向上をめざす生徒
- 学校や地域での活動を通じて自らの心身を鍛練し自己実現を図りたいと考えている生徒
- 仲間と協力し、主体的に粘り強く活動できる生徒

学校力【授業力 生徒指導力 組織力】に基づいた一人ひとりが安心して学び成長できる安全な学校づくり

学校・家庭・地域・同窓会